



図書館だより

令和5年度学年末号



☆春の特別貸出のお知らせ

春休み前も長期貸出しをいたします。返却日まで3週間ほどありますので、読書の時間もお忘れなく。

***特別貸出期間：3月8日（金）昼休み～3月19日終業日まで**

この期間は通常の貸出しと違い、何タイトルでも借りられます。また、この期間に借りた図書についての返却は、次に定める図書返却日までとなります。

***図書返却日：新学年始業式4月8日（月）・9日（火）**

なお、今年の卒業生で春休み中の読書に図書を借りたい人には、返却方法を相談の上、貸出しいたします。遠慮なくお申し出ください。

☆図書館のあれこれ

雑誌架について 3

前回に引き続き、4階図書室（416）の雑誌架のご案内です。2台のうち左の墨字用雑誌架の下には、本来ならば雑誌のバックナンバーをしまう引き出しがありますが、図書室では各所から送られてくる録音図書をしまう場所として活用しています。

3列4段の引き出しで、一段目にそれぞれ最新号が、2段目以降にはバックナンバーが入っています。まず左の列には、厚生労働省委託の「厚生労働白書」や「障害者白書」「声の広報厚生」、内閣府政府広報室の「音声広報 CD 明日への声」といった、国の省庁から送られてくるもの。真ん中には、国立民族学博物館の「月刊みんぱく」や日本点字図書館の「にってんデিজーマガジン」。右の列には、東京都からの「広報東京都」や「都議会だより」「東京の福祉保健」、文京区の障害福祉課が出している「障害者福祉のてびき」などがそれぞれ入っています。

ここにある録音図書は、雑誌架の他のものと同様原則館内閲覧のみで禁退出ですが、録音図書を聴く場所にも限りがありますので、要望があれば貸出しも致します。利用したい人はぜひご相談ください。



☆新着図書案内

以下に挙げる図書は、今学期図書館に入った図書の一部です。著者名・書名に加えて、現在サピエ等で用意できるものがある場合は、明記してあります。ご活用ください。（墨：墨字 点：点字あるいは点字データ 拡：拡大 音：音声デジター テ：テキストデジター マ：マルチメディアデジター 着手：サピエあるいは本校で作成中）

なお、以前に同じタイトルを案内した場合も、別の形式が図書館所蔵となった場合（拡大図書が新たに入ったなど）は、再度掲載しています。

【岩波ジュニア新書】

平賀 緑『食べものから学ぶ現代社会』墨・点着手・音着手

堀内 かおる『10代のうちに考えておきたいジェンダーの話』墨・点着手・音着手

宇根 豊『農はいのちをつなぐ』墨・点着手・テ着手

植木 安弘『国連で働く—世界を支える仕事』墨・点着手・音着手・テ着手

高木 和子『源氏物語入門』墨・点着手・テ

重延 浩『ボクの故郷は戦場になった』墨・点着手・音着手

高槻 成紀『都市のくらしと野生動物の未来』墨・点着手

中島 隆博『扉をひらく哲学—人生の鍵は古典のなかにある』墨・点・音着手・テ着手

今田 高俊『核のごみをどうするか—もう一つの原発問題』墨・点・音

島野 智之『新種発見物語』墨・点着手・テ着手

梅澤 貴典『ネット情報におぼれない学び方』墨・点着手

竹内 早希子『巨大おけを絶やすな！—日本の食文化を未来へつなぐ』墨・点・テ着手

出口 智之『森鷗外、自分を探す』墨・点着手・音

林 直亨『学び合い、発信する技術—アカデミックスキルの基礎』墨・音

真山 仁『“正しい”を疑え！』墨・点・音

西田 友広『16テーマで知る鎌倉武士の生活』墨・点

沖田 瑞穂『世界の神話 躍動する女神たち』墨

高橋 瑞樹『大絶滅は、また起きるのか？』墨・点・音





工藤 尚悟『私たちのサステナビリティ—まもり、つくり、次世代につなげる』墨・点
千葉 俊二『作家たちの17歳』墨・点・音

【岩波ジュニアスタートブックス】

木村 由莉『恐竜がもっと好きになる化石の話—ゆり先生の化石研究室』墨・テ着手
長濱 和代『木が泣いている—日本の森でおこっていること』墨・点
渡邊 義浩『三国志が好き！』墨・点着手
近藤 雄生『10代のうちに考えておきたい「なぜ?」「どうして?」』墨・点・音
増田 隆一『はじめての動物地理学』墨・点着手・音着手・テ着手
小林 富雄『食品ロスはなぜ減らないの?』墨・点・音・テ着手

【ちくまプリマー新書】

平尾 昌宏『人間関係ってどういう関係?』墨・点着手・テ着手
川添 愛『世にもあいまいなことばの秘密』墨・点着手・音着手
住吉 雅美『ルールはそもそもなんのためにあるのか』墨・点着手・音着手
竹端 寛『ケアしケアされ、生きていく』墨・点着手・音着手
坂本 拓弥『体育がきらい』墨・点着手・音着手
小島 渉『カブトムシの謎をとく』墨・点着手・音着手・テ着手
和泉 悠『悪口ってなんだろう』墨・点着手・音着手
中村 英代『嫌な気持ちになったら、どうする?—ネガティブとの向き合い方』墨・点・音
森 達也『集団に流されず個人として生きるには』墨・点

【なるにはBOOKS 大学学部調べ】

大岳 美帆『経営学部・商学部—中高生のための学部選びガイド』墨
橋口 佐紀子『心理学部—中高生のための学部選びガイド』墨
三井 綾子『音楽学部—中高生のための学部選びガイド』墨



【保健体育】

池田 亜希子『生理の話—中高生や社会人のみんなに聞いてみた』墨
高尾 美穂『10代のカラダのハテナ』墨
高柳 美知子『10歳からの性教育』墨

【修学旅行調べ学習用】

稲福 政斉『ボーダー新書 沖縄しきたり歳時記 (増補改訂)』墨
池原 貞雄『沖縄の自然を知る』墨
久万田 晋『沖縄・奄美の島々を彩る歌と踊り—民俗芸能の伝統と創造をめぐる旅』墨
櫻澤 誠『沖縄現代史—米国統治、本土復帰から「オール沖縄」まで』墨・音
青春を語る会『沖縄戦の全女子学徒隊—次世代に遺すものそれは平和』墨
西岡 敏『沖縄語の入門—たのしいウチナーグチ (改訂版)』
ひめゆり平和祈念資料館『ひめゆり平和祈念資料館資料集 沖縄戦の全学徒隊』墨
山本 彩香『にちにいまし—ちょっといい明日をつくる琉球料理と沖縄の言葉』墨・音
中村 武久『マングローブ入門—海に生える緑の森』墨・点

【単行本】

天川 栄人『セントエルモの光 久閑野高校天文部の、春と夏』墨・点・音
いとうみく『夜空にひらく』墨・点着手・音
いとうみく『ちいさな宇宙の扉のまえで—続・糸子の体重計』墨・点着手
石川 宏千花『G65』墨・音着手
石川 宏千花『保健室には魔女が必要』墨・点・音
朽木 祥『かげふみ』墨・点
黒柳 徹子『続 窓ぎわのトットちゃん』墨・点・音着手・テ
こざわ たまこ『教室のゴルディロックスゾーン』墨・点着手・音
中山 聖子『べんり屋、寺岡の秋。』墨・点・音
濱島 淑恵『子ども介護者—ヤングケアラーの現実と社会の壁』墨・点・音





濱野 京子『マスクと黒板』墨・点・音

ひこ・田中『あした、弁当を作る。』墨・点着手・音

堀越 喜晴『世界を手で見る、耳で見る一目で見ない族からのメッセージ』墨・点・音・テ

まはら 三桃『つる子さんからの奨学金』墨・点・音

行成 薫『小説ブルーピリオド あの日の僕ら』墨・点・音着手・テ

令丈 ヒロ子『病院図書館の青と空』墨・点・音着手

スーザン・ニールセン『住所、不定』墨・点・音

リアノン・ネイヴィン『おやすみの歌が消えて』墨・点・音

A. F. ハロルド『ぼくが消えないうちに』墨・点・音

【拡大本】

あさの あつこ『もう一枚あれかし』点・音・拡

高濱 正伸『13歳のキミへ』拡

若山 三千彦『看取り犬・文福』拡

M. G. ヘネシー『海を見た日』墨・点・拡

読みたい図書がみつかったら、遠慮なく声をかけてください。

